

事業所名	子育てサポート・ふれ愛 大和西大寺北校 (児童発達支援・放課後等デイサービス)		支援プログラム	作成日	2025年	1月	6日
法人(事業所)理念	子育て環境を豊かにする(子ども、保護者、社会、地域)						
支援方針	子どもの得意・不得意を見極めながら、SST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れたレッスンを行っています。遊びの幅を広げ、人と関わり、コミュニケーションの基礎を身に付ける療育を行います。 またお子様の好きなことや遊びをプログラムに取り入れ、楽しく遊びながら発達を促すことを大切にしています。そして保護者の方とのコミュニケーションを大切に、お子様の成長に繋がられるようにサポートをしていきます。						
営業時間	9時	45分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・全年齢を通じて季節に応じた行事を取り入れ、日本の風習や行事の意味を知り、お友だちと一緒に楽しむことを大切にしています。 ・子どもの発達に合わせて、排泄・手洗い・衣服の着脱等、生活に必要な力を身に付けられるように家庭と連携しながら支援します。また就園・就学に向けて、自分の身支度や持ち物の管理が自分でできるように促します。 ・様々な活動に取り組む中で自分で選択して行動する経験を積めるように支援していきます。 ・小学生のクッキングでは材料の買い物に行き、公共のマナーやお金の出し方について学びます。そしてお友だちと一緒にいろいろな物を作ってみんなで食べる楽しさを味わうだけではなく、調理器具の使い方も学びます。また活動後はお友だちと協力して掃除を行い、自分たちで責任を持って最後まで取り組む経験を積んでもらっています。 ・小学生は1か月に1回、野外活動専門の先生に来てもらい、自然物を使って季節に合わせた工作に取り組み、ノコギリなど様々な工具を使う経験を重ねています。 ・また小学生では活動の目標を小グループで話し合っ決めて目標を意識して行動する経験を重ねています。また外出時には公共のルールを守って行動できるように支援していきます。 児発(排泄・手洗い・衣服の着脱・身支度・片付け・クッキング) 放デイ(身支度・荷物の管理・クッキング・そうじ・目標決め・木工工作・買い物・遠足・SST)					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・全年齢を通じて、子どもの発達に合わせた体操・ダンスに繰り返し取り組み、楽しみながら自分の身体をイメージして動かす力をつけていきます。またリズムに合わせて身体を動かす「リズム運動」等の活動を取り入れ、身体のバランス力や体幹などを高めていきます。 ・様々な器具を使ったサーキット運動を取り入れ、それぞれの器具に合わせた身体の使い方を知り、身体の様々な部分の発達を促していきます。 ・1～2歳児の頃から感覚を刺激する感覚遊びに取り組んだり、季節の制作の中で目と手の協応動作の力や指先をコントロールする力を育てています。 ・小学生では、公園や広場に出かけて思いっきり身体を動かす機会を設けることで、健康な身体づくりや心身の適度なコントロールを促しています。 児発(季節の制作・豆遊び・ひも通し・縫いさし・ブロック・積み木・お絵描き・ぬりえ・体操・リズム運動・ロープ遊び・ボール遊び・ミュージックケア・サーキット) 放デイ(季節の制作・ブロック・積み木・お絵描き・ぬりえ・ルールのある遊び・体操・リズム運動・ロープ遊び・ボール遊び・ミュージックケア・サーキット・外遊び)					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・1～2歳児では絵本やカードを見たり色水遊びや制作活動を通して色や形などの見た情報の概念の形成から取り組みます。 ・年少～年中が中心のクラスでは見た情報を言葉や周囲の状況と繋げられるように、絵本の内容や季節に合わせた制作活動に取り組んだり、しっぽ取りや椅子取りゲーム、絵本のストーリーに沿った鬼ごっこなどのルール遊びに取り組みます。 ・年中児のクラスでは数字が用いられた本を読んだり、数字を使った鬼ごっこを行うなど、学習の土台作りにも取り組んでいます。 ・年長児では年中児までに積み重ねたことを活かしながらルール遊びを行う中で、集団の中で望ましい行動がとれるようにSSTを取り入れたり、就学に向けて学習の土台作りを行えるように線書きやワーキングメモリーなど机上のワークに取り組みます。 ・小学生でも引き続き、学校生活や日常生活の基礎となるビジョントレーニングやワーキングメモリーを取り入れたワークに取り組みます。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・1～2歳児では絵や写真を見ながらその物の名前を聞いたり、ままごとなどで大人の手本を見て真似ながらやりとりの言葉に触れ合い、新しい言葉を知ることから取り組みます。 ・年少～年中が中心のクラスでも引き続き、絵や写真を見ながら新しい言葉に触れつつ、動詞や形容詞など、より発展した言葉に触れられるように展開していきます。やりとりに関してはままごとやお店屋さんごっこなどごっこ遊びを取り入れ、大人の手本を真似ながらも自分で考えて大人やお友達に伝えられるように取り組んでいます。また、制作活動やルール遊びでは指示を聞いて正しく理解し行動する力をつけられるように各クラスに合わせた課題を設定しています。 ・年長児ではSSTで望ましい言葉の使い方を示しつつ、大人の見守りの中で子ども同士が自ら関わりを持ちコミュニケーションが広がっていくようにルール遊びを行っています。 ・小学生では余暇の時間を大切に適切な言葉を使ってコミュニケーションが育めるように、学校生活より近い距離で大人が介入して場面にあった声掛け支援を実施しています。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・1～2歳児では大人やお友達と場所や物を共有して遊ぶことを楽しめるように、ごっこ遊び、制作活動などに取り組みます。 ・年少～年長児では引き続きごっこ遊びでお友達とやりとりをして遊ぶ経験を重ねながら、年齢に応じたルール遊びも取り入れてルールに合わせて行動をしたり勝ち負けの経験を重ねていきます。また、玩具のみを決めて自由に遊ぶ時間も設けながら、子ども同士での関わりややりとりが広げられるようにプログラムを設定しています。 ・年長児～小学生では場面に合わせた行動を考えたり、相手のことを思いやりながら適切に自分の気持ちを表現していく方法を学ぶ機会を設けています。 					
家族支援	「家族支援プログラム」と称して、チェックリストを用いてお子様の発達状況の確認や相談、療育参観を3か月に1回ペースで行っています。また、「保護者勉強会」を随時開催し、その時々テーマで保護者と共に学ぶ機会を設けています。また「ゆるやかな親の会」と称した保護者を立ち上げ、保護者同士の横の繋がり作りや情報共有の場を作り、家族支援を行っています。	移行支援	就園・就学などのライフステージの切り替え時には、保護者の勉強会を実施したり情報の共有を行うと共に、幼稚園・こども園とも必要に応じて連携を図らせて頂きます。また、事業所で習得された行動や支援内容を療育以外の場所でもできることを目指し、保護者と相談しながら関係機関に情報提供を行っています。				
地域支援・地域連携	奈良市障がい児通所支援連絡協議会・木津川市自立支援協議会に参加をさせて頂いています。また「はぐくみセンター」「奈良市こどもセンター」とも連携を図らせて頂いています。 また、「(民間独自)子育てサポート広場」として月1～2回「親子体験教室」を開催し、地域の保護者とお子様の子育てをサポートする取り組みも行ってあります。	職員の質の向上	年間を通じて職員の内部研修・外部研修を積極的に行っています。 (例) 新人研修・リスクマネジメント・虐待研修・就学相談勉強会・防犯・BCP研修・ことばの検査・事例報告・検査と解釈・保護者面談技法・その他法定研修等				
主な行事等	児童発達支援：夏祭り・ハロウィン・クリスマス会、節分等季節に応じた行事を随時実施しております。また年長児には「日曜レッスン」を年に1～2回開催し、昼食クッキングや就学に向けた集団活動を行っております。 放課後等デイサービス：「基礎クラス」(平日)においては、年に数回「日曜スペシャル」で遠足や野外活動を開催しております。また季節に応じたイベントは通年で行ってあります。「総合クラス」(土曜日)は、毎月野外活動の専門講師による「スペシャルレッスン」を実施し、「買い物・クッキング活動」等も月1回行っております。また「日曜スペシャル」での野外活動も年に数回実施しています。 法人大型イベントとして「ふれ愛フェスティバル」を年に1回開催し、他年齢のお子様と保護者様の交流の場を設けています。						